

株式会社アマナホールディングス

2012年12月期 決算説明資料

(東証マザーズ 2402)

2013年2月



- 2012年12月期 連結業績
- 2012年12月期 事業別業績
- 2012年12月期 トピックス
- 2013年12月期 業績見通し

業績サマリー | 対前年実績、及び計画値との比較

単位：百万円

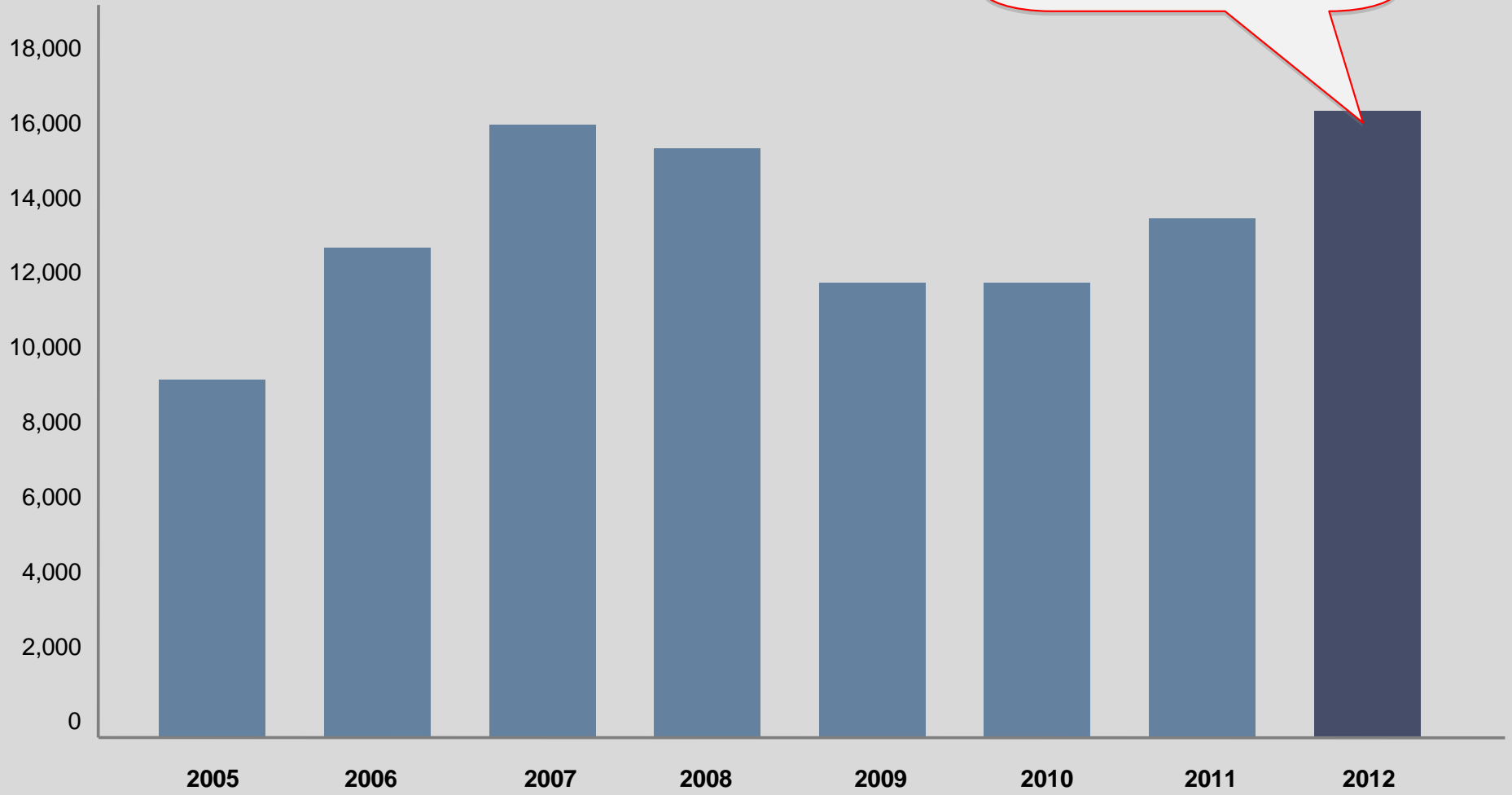
| | 2012年 実績 | 2012年 計画 | 2011年 実績 | 計画値 達成率 | 前年同期 増減率 |
|------------|-----------------|-----------------|----------------|------------|-------------|
| 売上高 | 16,575 | 16,000 | 13,681 | 103.6% | 21.2% |
| 外注原価 | 5,844 | 5,648 | 4,665 | 103.5% | 25.8% |
| 付加価値 % | 10,731 64.7% | 10,352 64.7% | 9,016 65.9% | 103.7% | 19.0% |
| 固定費 | 10,593 | 10,017 | 8,792 | 104.7% | 19.2% |
| 営業利益 | 186 | 450 | 407 | △58.7% | △54.3% |
| 経常利益 | 123 | 350 | 305 | △64.9% | △59.7% |
| 純利益 純損失 | 3 | 150 | △123 | △98.0% | — |

* 付加価値＝売上高－外注原価

* 固定費＝制作経費（制作人件費・家賃他）＋販管費＋支払利息

業績ハイライト | 上場来の売上高の推移

単位：百万円



業績サマリー | 前年実績値及び計画値との比較

対前年実績比較

マーケット戦略が奏功

<増収>

- 新しいマーケット開拓戦略への取組みが順調
- ・ エンタテインメント映像制作事業を連結子会社化
 - ・ デジタル商材の売上高が伸長
 - ・ コーポレートマーケットの売上高が伸張

対計画値比較

先行投資の増加

<売上：達成>

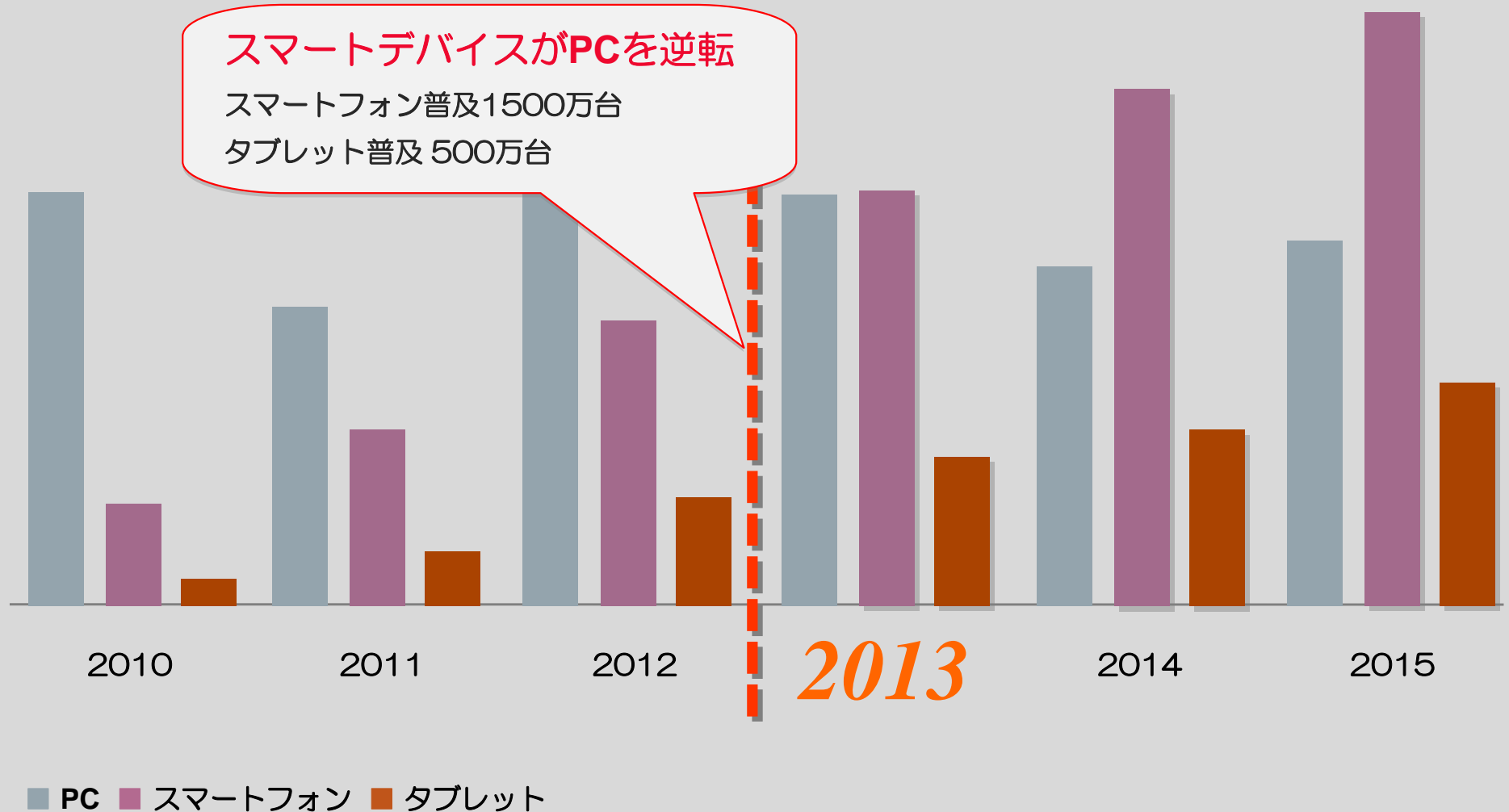
- 新しいマーケット開拓戦略への取組みが順調
- ・ 広告の企画制作事業が成長

<利益：未達>


新規事業開発に係る先行投資（人件費等）の増加
海外大型買収案件関連費用による特別損失の計上
（78百万円）

マーケットの変化

【 デジタルデバイス出荷台数推移予測 VS PCマーケット 2010～2015年予測 】



マーケットの変化



メディアの多様化

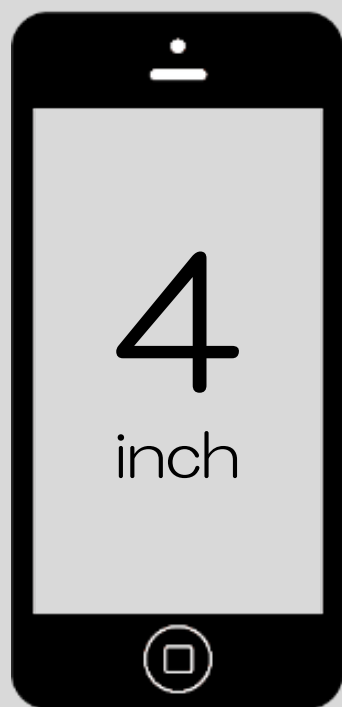


広告の変化

ビジュアル・コミュニケーションの多様化

マーケットの変化

タブレットの普及によって、
高い表現力を持つビジュアルのニーズが増加



先行投資の内容

デジタルデバイス普及期に向けた先行投資を強化

営業力・商品力の強化

電子カタログマーケット強化のための
人員の採用及び技術の導入

制作の合理化

クラウド型制作合理化システム（acp）の
企画・開発

新規ビジネス開発

「コンテンツの企画・販売」ビジネスへの
展開に向けた基盤整備

■ 2012年12月期 連結業績

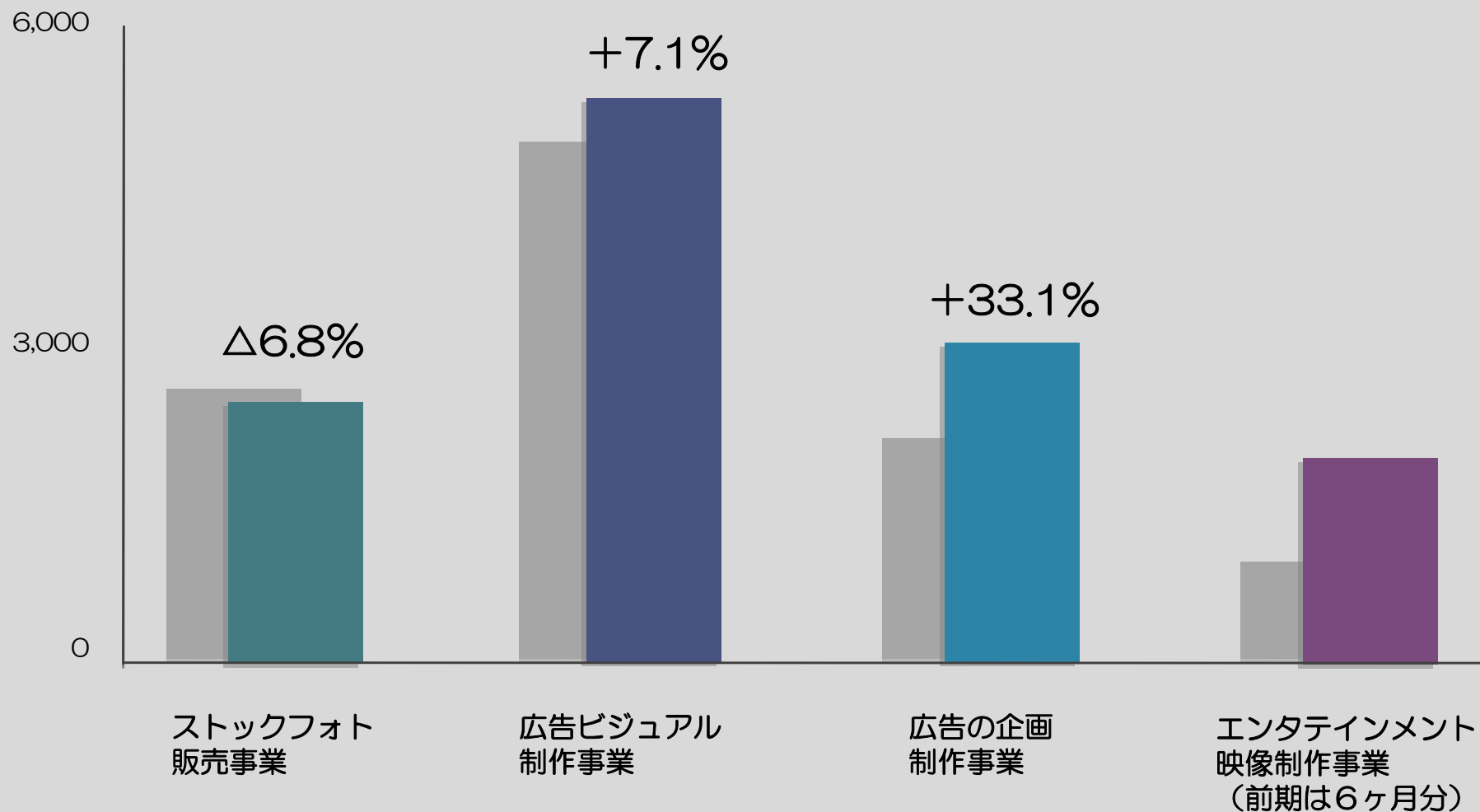
■ 2012年12月期 事業別業績

■ 2012年12月期 トピックス

■ 2013年12月期 業績見通し

事業別業績 | 売上高の対前年比較

単位：百万円



セグメント情報 | スtockフォト販売事業 業績

単位：百万円

2012年 実績

2011年 実績

セグメント
売上高

3,239

3,476

減少要因 ▶ マーケットニーズの低価格帯商品へのシフトによる、
ストックフォトの単価の低下

トピックス ▶ スtockフォト以外の新商材が順調に推移

セグメント
営業利益

136

321

減少要因 ▶ 撮影サービスの売上高増加に伴う外注費が増加
新商材の開発に係る費用が増加

セグメント情報 | 広告ビジュアル制作事業 業績

単位：百万円

2012年 実績

2011年 実績

セグメント
売上高

7,429

6,939

増加要因 ▶ 撮影、CG・CGI制作が伸張

トピックス ▶ 予想に比較し、営業力の伸びが不足
コーポレートマーケット開拓が着実に前進
食品、精密機器マーケットでの売上が伸張

セグメント
営業利益

△51

143

減少要因 ▶ 人員増に伴う人件費の増加、プロモーション費用等の増加

セグメント情報 | 広告の企画制作事業 業績

単位：百万円

2012年 実績

2011年 実績

セグメント
売上高

4,063

3,054

増加要因 ▶ ウェブ制作・デジタル関連商品が堅調
SP・グラフィックが復調

トピックス ▶ 電子カタログが順調に推移

セグメント
営業利益

75

135

減少要因 ▶ 電子カタログ事業等の先行投資による人件費、業務委託費用等の増加

セグメント情報 | エンタテインメント映像制作事業 業績

単位：百万円

| | 2012年 実績 | 2011年 実績 |
|---------------|--|----------|
| セグメント 売上高 | 2,728 | 951 |
| 増加要因 | ▶ 過去最高の売上高 2011年下期から業績連結化（前期は6ヶ月分のみ計上） 海外向けデジタルアニメーション制作、国内ゲーム・遊技機向けデジタル映像制作 | |
| トピックス | ▶ 大型TVシリーズ Hasbro社「Transformers Prime Season 2&3」、 Lucasfilm Animation社「Star Wars: The Clone Wars」、 Disney社「Tron Uprising」等の制作 | |
| セグメント 営業利益 | 166 | △36 |
| 増加要因 | ▶ 過去最高の利益 海外大型TVシリーズの制作が終盤に差し掛かり、コスト抑制効果が効いたことにより原価率が改善 | |

■ 2012年12月期 連結業績

■ 2012年12月期 事業別業績

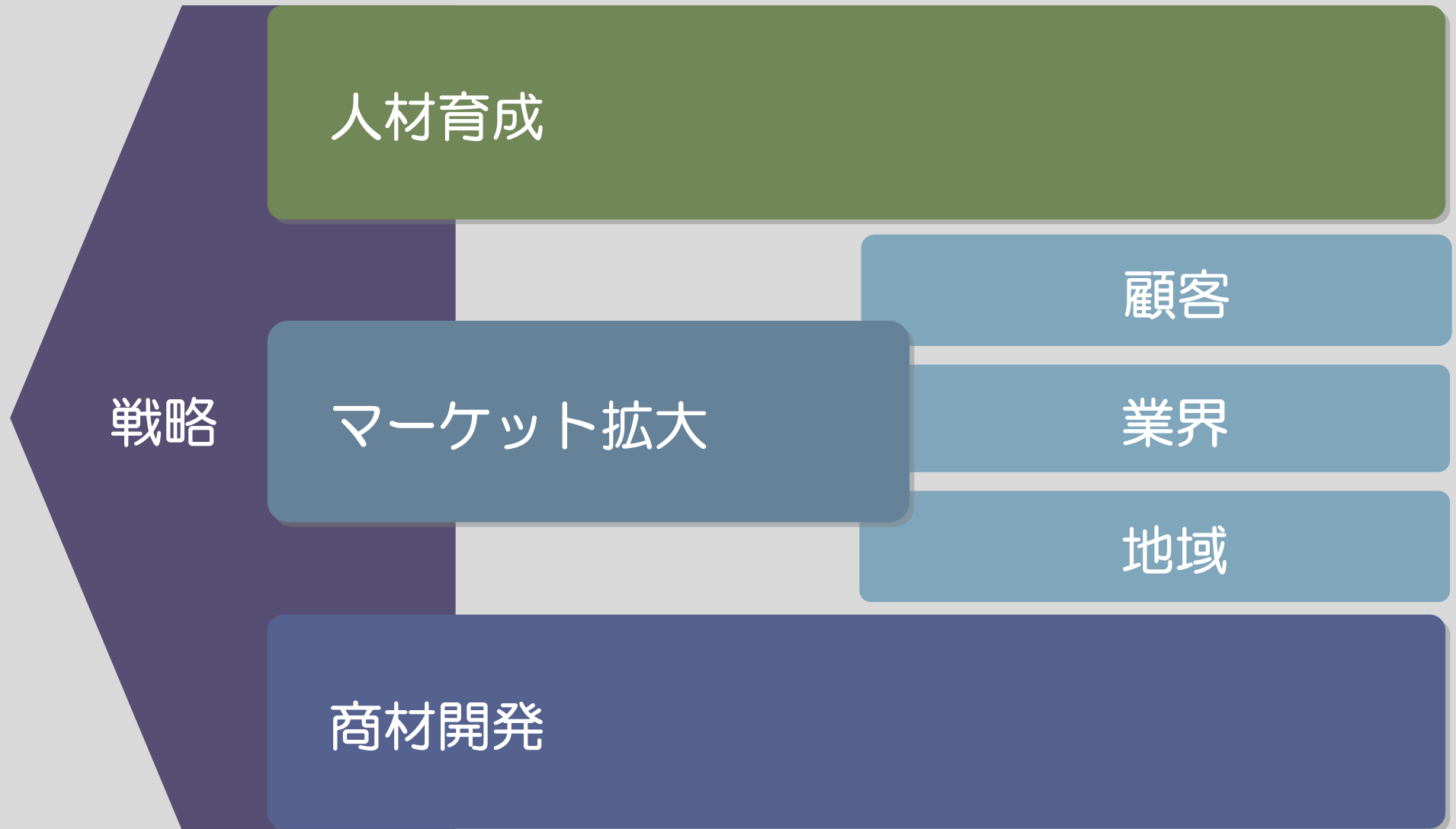
■ 2012年12月期 トピックス

■ 2013年12月期 業績見通し

マーケットの変化



デジタルデバイス普及期に向けた戦略の推進



人材育成

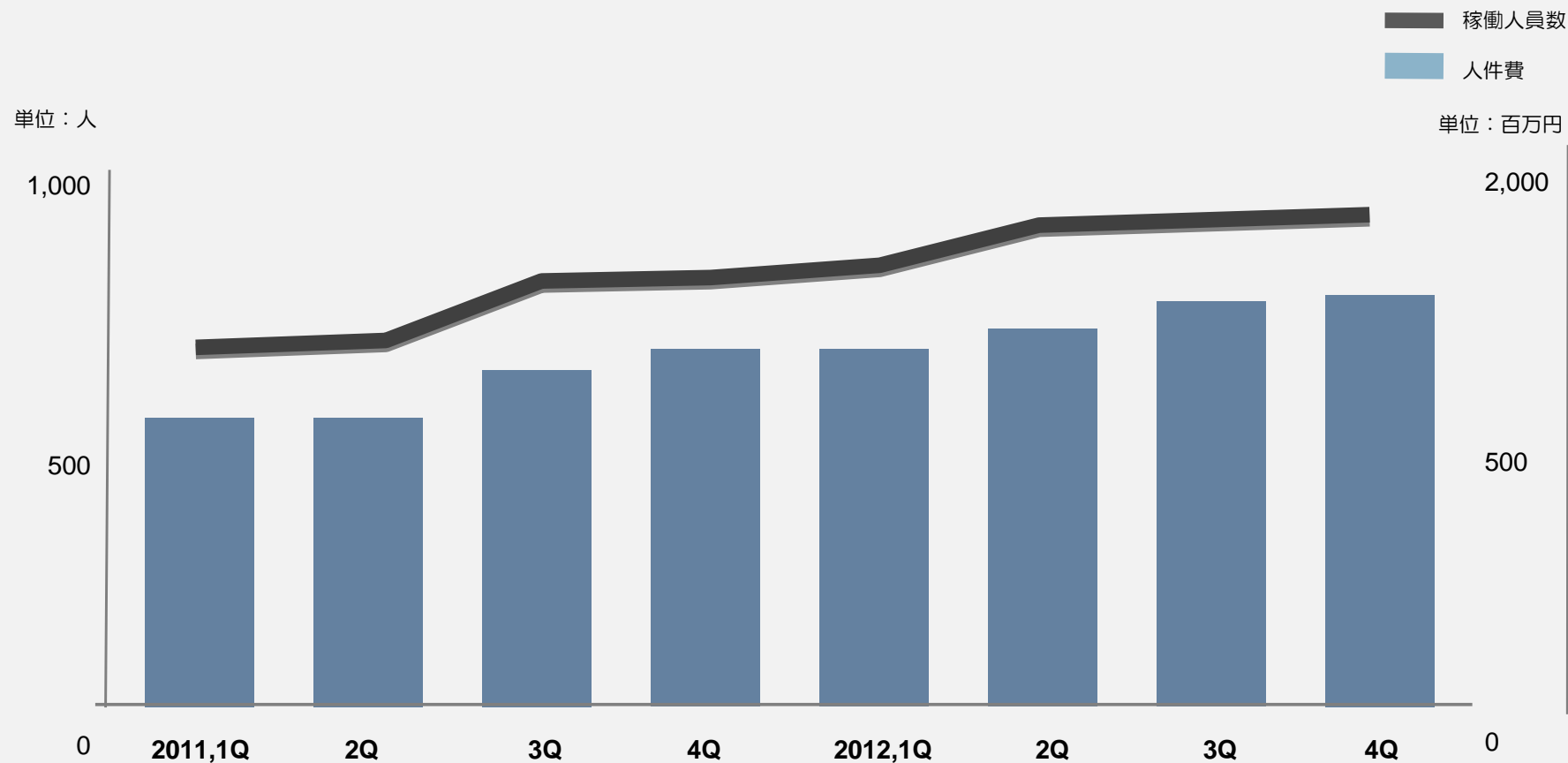
次世代人材の採用・育成の強化



人材育成

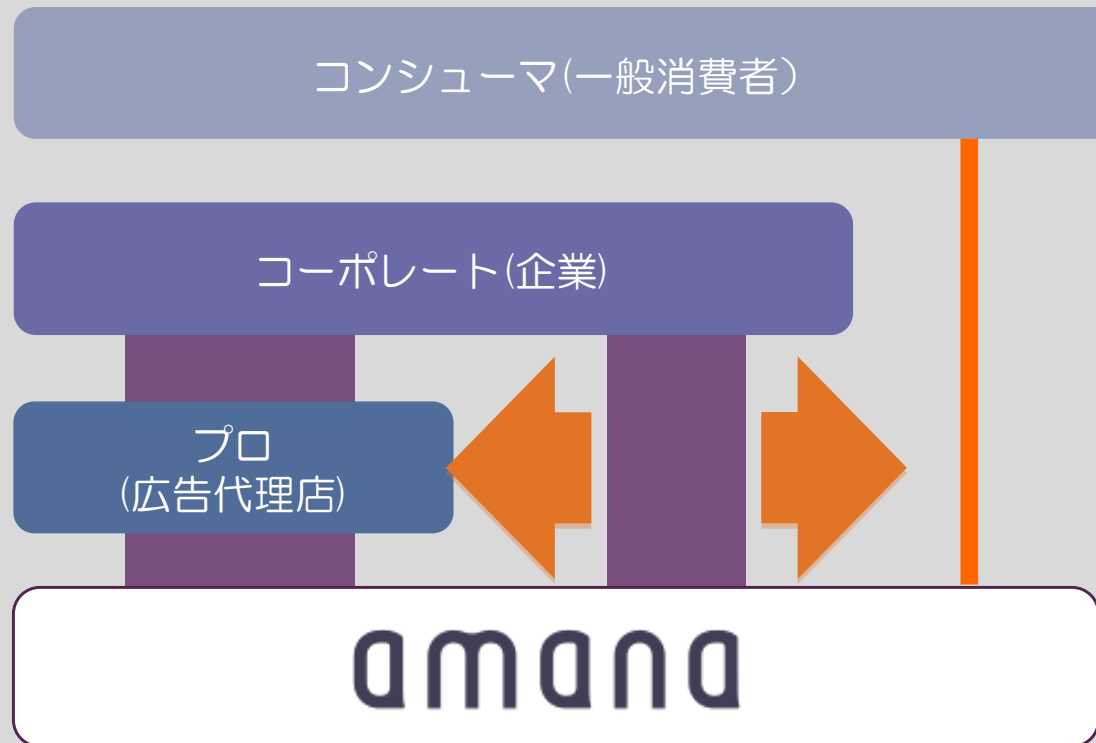
デジタル商材販売・新規ビジネス開発に係る人材投資

【 四半期毎の人件費及び稼働人員数の推移 】



マーケット拡大：顧客

コーポレートマーケット拡張と コンシューママーケット参入に向けた基盤整備



マーケット拡大：顧客

企業のブランドデザイン事業を開始



8月
国内・アジアの企業のブランディング専門チーム
「Visual Communication Room」を設置



11月
(株)ウエストビレッジ コミュニケーション・アーツ
をグループ化

マーケット拡大：顧客

食・飲料マーケット向けのサービスを強化



「食」業界向けスタジオをリニューアル

空間名称：ヒュー・プラス

所在地： 東京都港区海岸3-5-1 海岸ANNEXスタジオ

総面積： 約1200㎡

設備概略：

1F エントランスホール／受付／荷下ろしスペース

6F キッチンスタジオ 4面、ライブラリー、食器庫

7F キッチンスタジオ 2面、CGスタジオ、カフェ、
オフィス

屋上 ガーデンテラス

マーケット拡大：顧客

コンシューマ向け出版・オンライン事業をスタート

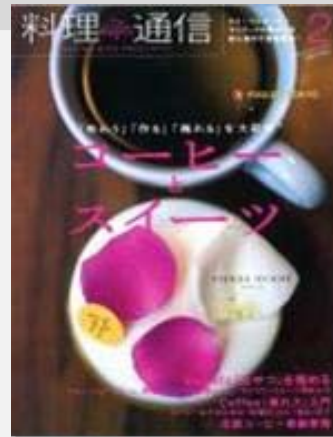
[WEB]



[紙媒体]



キッズファッション
【Milk】



食・飲料
【料理通信】



アート写真
【IMA】

マーケット拡大：業界

教育分野の開拓に向けた基盤整備



教育

出版 放送

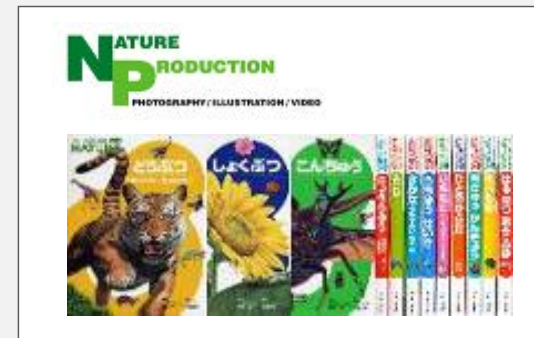
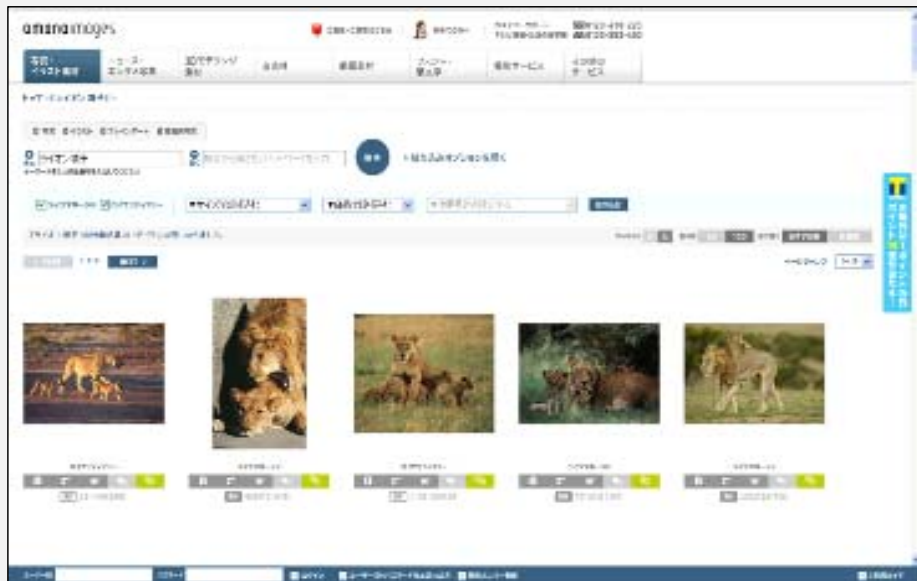
広告

エンタ
テインメント

マーケット拡大：業界

教材の企画開発・編集事業参入に向け、準備を開始

amandaimages ストックフォト販売サイト



8月： 勉強SNS運営(株)クラウドスタディとの資本・業務提携を実施

11月： 教育系コンテンツ販売(有)ネイチャー・プロダクション他2社をグループ化

マーケット拡大：地域

アジア地域を足がかりに、グローバルマーケットへ進出



マーケット拡大：地域

上海の子会社、amanacliq Shanghai を設立



amanacliq

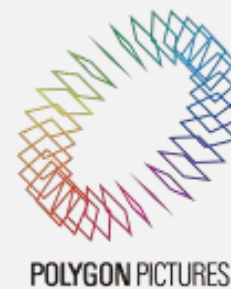
社名： amanacliq Shanghai Limited
（上海恒代齐力企业形象策划有限公司）
設立： 2012年10月29日
営業開始： 2012年12月1日
所在地： 上海
資本金： 200万USドル
（香港amanacliq Asia Limited 100%出資）
事業内容： アジア市場における広告ビジュアル制作事業

マーケット拡大：地域

マレーシア大手CGスタジオとの合併会社を設立



SILVER ANT PPI



POLYGON PICTURES



社名： SILVER ANT PPI SDN.BHD.

所在地： マレーシア

資本金： 8,000万円

出資比率： 株式会社ポリゴン・ピクチュアズ 51%、Silver Ant Sdn. Bhd. 49%

事業内容： コンピュータ・グラフィックスによる映像制作

設立： 2013年1月1日

商材開発

制作プロセス合理化のためのシステム構築に注力



acp



* acp (amana creative platform)

商材開発

顧客も利用可能なクラウド型制作システムの開発

acp (アマナクリエイティブプラットフォーム)の企画・開発



simulate

早い意思決定



create

ローカルからクラウドへ



share

情報から知恵へ



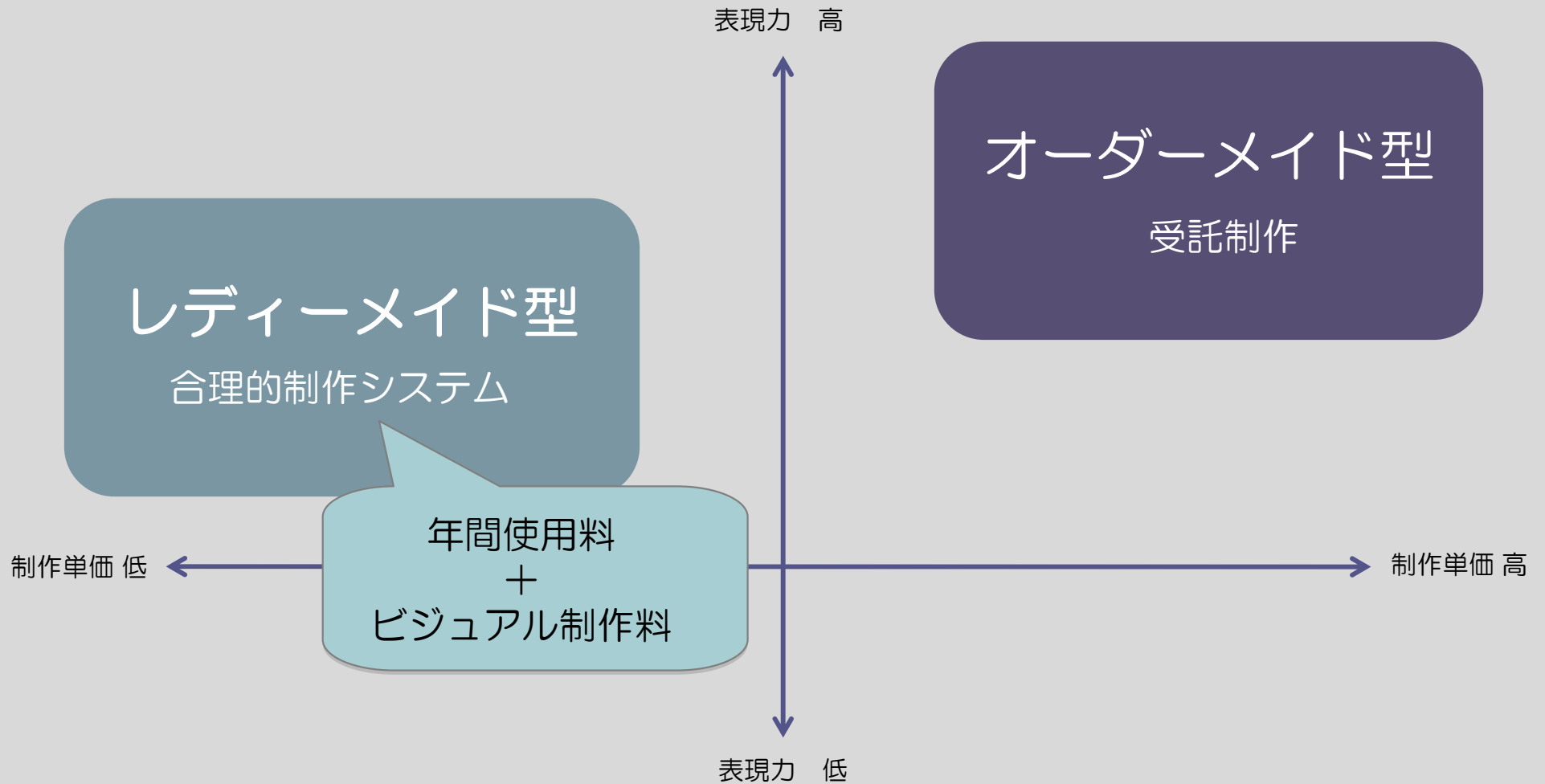
store

使えるデータベースへ



商材開発

電子カタログマーケット拡大のための商品力強化



商材開発

電子カタログ系技術開発企業との資本・業務提携



Handbook

<業務提携>

スマートデバイス向け電子ファイル共有・
配信サービス「Handbook(ハンドブック)」
用コンテンツの企画・制作サービス

インフォテリア株式会社

事業内容： ソフトウェア開発販売



<資本及び業務提携>

法人向けクラウドサービス
「seap (シープ)」の共同販売

株式会社ジェナ

事業内容： 法人向けスマートデバイスアプリ
開発、システムインテグレーション、導入支援

商材開発

マーケット拡大に向けた新規ビジネスの開発

ビジュアル・コミュニケーションビジネスにおける

【既存ビジネス】

素材の受託制作

素材の販売

コンテンツの
受託制作

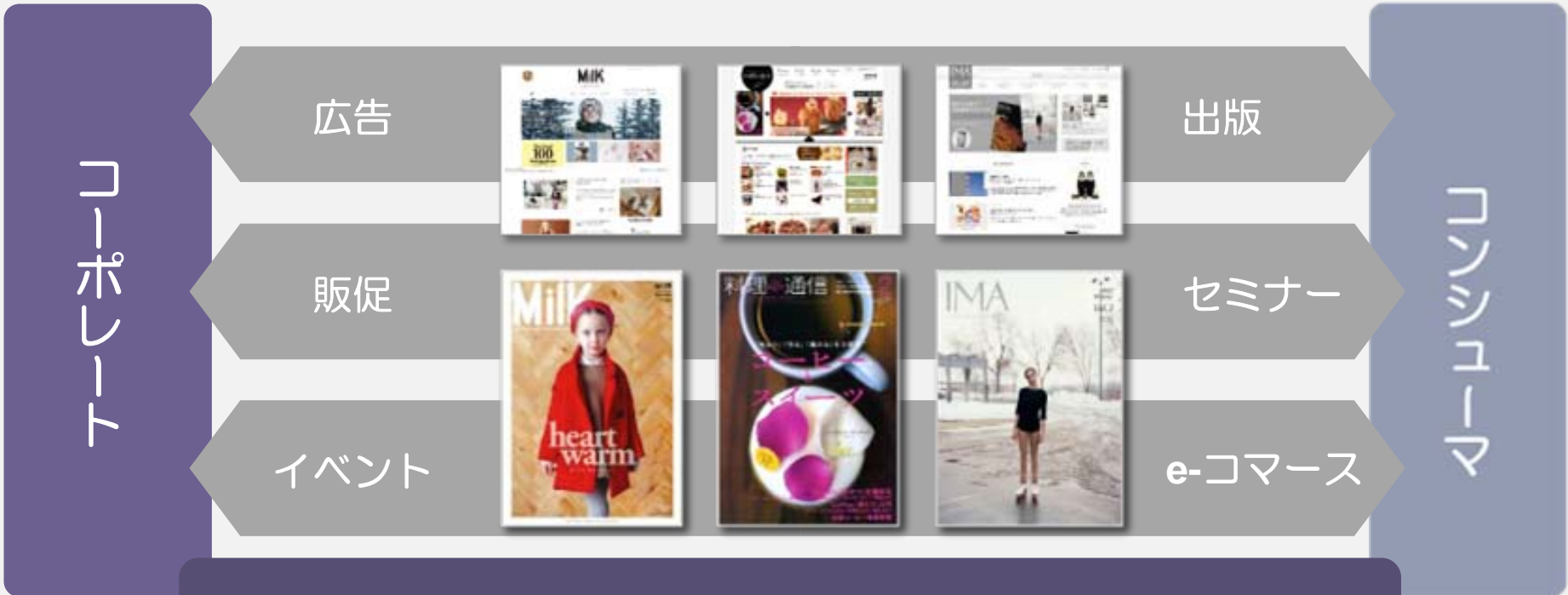


【新規ビジネス】

コンテンツの企画・販売

商材開発

「コンテンツの企画・販売」ビジネスの基盤整備を開始



ビジュアルの「受託制作・素材販売」

ビジュアルを中心とした「コンテンツの企画・販売」

■ 2012年12月期 連結業績

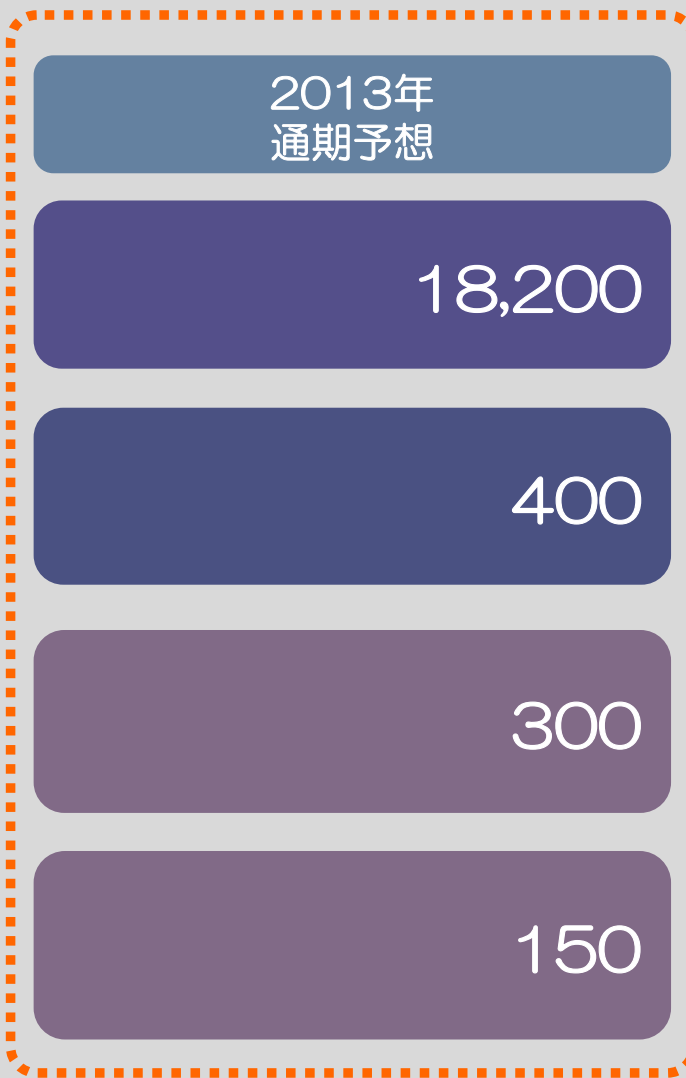
■ 2012年12月期 事業別業績

■ 2012年12月期 トピックス

■ 2013年12月期 業績見通し

単位：百万円

| | 2012年 実績 | 2013年 通期予想 | 2013年 第2四半期予想 |
|-------|-------------|---------------|------------------|
| 売上高 | 16,575 | 18,200 | 9,000 |
| 営業利益 | 186 | 400 | 190 |
| 経常利益 | 123 | 300 | 130 |
| 当期純利益 | 3 | 150 | 60 |



【補足資料】 連結貸借対照表

単位：百万円

| | 2012年12月末 | 2011年12月末 | 増減 | 主な要因 |
|---------|-----------|-----------|------|-------------------------------|
| 資産合計 | 11,739 | 11,065 | 674 | |
| 流動資産 | 6,108 | 6,031 | 77 | 売上債権の増加、長期案件（仕掛品）の終了 |
| 現金及び預金 | 1,378 | 1,574 | △196 | |
| 売掛債権 | 3,886 | 3,571 | 315 | |
| その他流動資産 | 842 | 885 | △43 | |
| 固定資産 | 5,623 | 5,033 | 590 | スタジオ設備改修、ウェブサイト整備、新規子会社のれん発生等 |
| 繰延資産 | 0 | 7 | 7 | |
| 負債合計 | 8,566 | 7,816 | 750 | |
| 流動負債 | 4,409 | 4,354 | 55 | |
| 買掛債務 | 1,142 | 1,158 | △16 | |
| 短期借入金 | 2,198 | 1,792 | 406 | 新規借入：300百万円 |
| その他流動負債 | 1,068 | 1,402 | △334 | 前受金の減少 |
| 固定負債 | 4,156 | 3,461 | 695 | |
| 長期借入金 | 3,552 | 2,873 | 679 | 新規借入：679百万円 |
| その他固定負債 | 604 | 588 | 16 | |
| 純資産合計 | 3,172 | 3,248 | △76 | 配当金支払い： △74 |

【補足資料】 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

| | 2012年 | 主な要因 |
|----------------------|--------|--|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 292 | 税金等調整前当期純利益 25百万円 減価償却費 762百万円 のれん償却額 133百万円 棚卸資産減少額 226百万円 売上債権増加額 466百万円 法人税等支払額 332百万円 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △1,332 | スタジオ改装に伴う有形固定資産の取得 518百万円 販売システム等無形固定資産の取得 544百万円 子会社株式取得 100百万円 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 826 | 長期借入金の借入 7,000百万円 長短期借入金の返済 6,026百万円 株式配当金 74百万円 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 1,373 | |

【補足資料】 アマナグループ図 (2013年2月現在)

